報館 大豊

発行所
高知県長岡郡
大豊村立中央公民館
電話杉55番
印刷所
真生会同志社事業部

(無料配布)

躍進大豊村

合併一週年記念式
役場庁舎落成式

四月二十八日擧行

村政の殿堂、役場庁舎の建築工事は昨年十二月に着手以来約五ケ月の月日と六百万円の工費を要して美しく完成、大豊村合併一周年記念と併せて快晴に恵まれた四月二十八日に盛大な落成式を挙行した。

定刻前、この日を祝う村内外の関係者、来賓が式場である階下にあふれ式典は長野教育長の司会により厳そかに始められた祭典後村長式辞と、建築委員長小笠原清浩氏の工事報告があり、自治庁長官よりの合併功労者に対する感謝状伝達と村よりの感謝状、記念品の贈呈を行い、県財務部長他来賓挨拶十一通にのぼる祝電披露があった。

ついで前大杉村長秋山重実氏より謝辞が述べられ、撤饌の儀があって十二時閉式した。

真ちに投餅、自転車レース、三つの歌等の記念行事に移ると共に簡素なうちにもなごやかな祝賀の宴が行なわれて一切を午后五時頃終了した

自治功労者名

(自治庁長官、全国町村議会議長会村長より感謝状及び記念品贈呈)

旧東豊永村長　高木定盛氏
〃西豊永村長　豊永利男氏
〃大杉村長　秋山重実氏
〃天坪村長　北村晴喜氏
旧東豊永村議会議長　下村彦之進氏
旧西豊永村議会議長　北鹿　篤光氏
旧大杉村議会議長　小笠原清浩氏
旧天坪村議会議長　溝淵　遊龜氏

庁舎建築功労者名

株式会社領北建設社長　稲村　厳穂氏
株式会社山下商店代表者　山下　道吾氏
一級建築士　北岡　重只氏
建築主任　伊藤　正明氏
土木工事主任　高橋菊次郎氏
建築委員長　小笠原清浩氏
建築委員　朝倉　寛一氏
〃　秋山　長雄氏
〃　坂本　栄喜氏

新村発足一週年及び新庁舎落成に際して

豊永利男

新村発足一周記念庁舎落成式の挙行に際し合併当初の責任者の一人として全村民の各位に対しお歓申上る機会に接します事を無上の光栄に存じます不肖当時を回顧し感慨無量、その情せつなるものがあり只感激感涙にむせぶものであります、この雛局ケ開に際して、村当局の一糸乱れざる終始一貫せる熱血の努力と併せて卓絶せる識見抱負による議会運営の妙により合併に供う難局処理を特に快刀乱麻を断つ如く処理せられてある事は鉄七を算うる大村の幹りと共に名実兼ね備つて来た事を確心してはゞからぬものでありますこの間若干の問題もありましたが、これは合併当初に対する村民の歓びを何にたとへませう今こゝに過去を顧みり将来に対し執行部議決機関各々その立場に立脚し村民これに和し村民生活の安定を図り千古大自然を征服せる天然記念日本一大杉と共に益々発展されん事を祈り韓んでのであります。村民もまた村民の健在を寿ぎます（筆者は旧西豊永村長）

確立すると共に村民の総意に基づく村の象徴である庁舎落成と新村発足第一周年記念が挙行された事に対する村民の歓びを

りここに着々実績体系を

自轉車レース一位に

宮内一郎君

当日記念行事として午後一時より十一粁のコース（新庁舎前出発、高須トンネル川口、尾生、穴内、日浦、日帰着）の実用自転車レースが行なはれた。事故防止のため本山警察署より十五名の警官が出動警戒の中を放送、救護車を配置し一人三分おきに出発、沿道の観衆の声援を浴びつつ午後三時無事終了した。入賞は次の通りである。

一位宮内一郎（三六分四〇秒）。二位山本健策（三八分一八秒）。三位大利保（三六分四〇秒）。四位近藤則夫（三九分一四秒）。五位浜田豊高（三九分二六秒）

村内中小学校
生徒数四五四八人
——昨年より五三人增——

村教委事務局では村内学校の教員数、学級数、生徒児童数等を調査していたがこの程次の通りまとまった。

これによると昨年に位べ教員が二名増、生徒数が五三名増となつている。（）内氏名は校長名、人数は生徒数。

天坪中学校（矢野重実）一〇四人。久寿軒中学校（岡林長盛）五二人。大杉中学校（中村忠義）二四一人。川口中学校（岩村重寿）三七人。立川中学校（釣井正龜）一〇八人。穴内中学校（田川一栄）一〇九人。大田口中学校（藤中義繁）一〇九人。西豊永小学校（杉本幸夫）二七六人。佐和山分校一九人。大砂子小学校（中西重敏）一五九人。岩原小学校（原義美）一三三人。東豊永小学校（野崎剛）三六八人。西峯小学校（讃井和郎）二二三人。

計
学校数　一九一人
教員数　二七校
生徒数　四五四八人

委員長に
秋山正隆氏再選

四月四日組織教育委員會

村教育委員会では四月四日に組織委員会を開催した当日は午前十時より議会選出下村委員の假議長のもとに議席を決定し、委員長及び副委員長を選挙した結果、委員長に秋山正隆委員、副委員長西岡委員が再選され就任した。

假議長は秋山委員長に交代し天坪地区境界変更に伴う処理委員を二名選挙し秋山委員長、西岡副委員長に決定した。

ついで教育長が兼任されていた村中央公民館長辞任に関する件が上程承認され改めて教育長より委員会事務局主事西岡武光氏を推薦し、これを承認決定した。

続いて、一、大田口小学校々庭保育園一部使用許可について。二、東豊永小学校及西峯小学校々舎並に校庭の保育園一部使用許可について。三、天坪中学校分室生徒大杉中学校通学に関する諸準備について。四、天坪小学校より繁藤小学校に転学児童準備について、の四項をそれ〳〵協議決定して午后四時組織委員会を閉会した。

就任の御挨拶

大豊村中央公民館長　西岡武光

この度、村中央公民館長として就任する事となりました。もとよりの大役で私如き者のよく其の責めを果されるものとは考えませぬが多方村民の皆様方の御庇護と、御鞭撻を得て必死の努力を払い度いと存じますので何卒よろしく御願いいたします。

公民館運動で一番大切な事は、村民の一人々々にしっかりじたつながりを持つという事であります。之とこの既定の事実であり当局は勿論関係者の御労苦に対し深甚の謝意を表するものであります。村民もまた小異を捨て同につく大乗的見地より建設的意慾は漲り、之から足が浮いたらそれこそ問題にならないと存じます。

しかし運動は決して派手なものではありません。極めて地味で、健実なものでなくてはなりません。それは海底を通る電線の如く、目には見えなくとも、いざという時は立ち所に通ずる事となりましょう。電気の速さも、強さも備えていなくてはなりません。そして絶えず、たゆまない持続の力と辛抱が必要と存じます。

此に是非共一言致し度い事は、中央公民館が家無し公民館であると云う事であります。村づくりの一環としての公民館運動は、地区毎にある公民館、部落公民館とのトリオと連なりに於て力強くやつてはいますものゝ、建物自体を事業の対象とする立前に於て家を持つ事は絶体的であるという事です。

この面に対する皆様方の配慮と御協力を御願いいたします。

◇郷土の歴史◇

(一)庄屋制度

慶長六年、奥宗我部氏に替つて山内氏入国されより明治維新に廃されるまで二百七十年の所謂藩政時代は略般の制度よく整い郡に郷奉行を置き其の下に大庄屋、庄屋、老（年寄）組頭等の役を設け、郷村内の治安をはかり、産業を奨励し、年貢を徴収し、其他堤防、用水、溝渠、井堰、掛樋等、交通水利灌漑の工事に至る迄これを監督し、更にまた土地売買及び軽微の訴訟、警察の事務を取扱い各その郷村内の公務を処理したものである。当時庄屋は大体世襲して其の任に当り村内の利害並に一郷一郡の事件にも心を用い、代官、地頭へ其の意を具申した。庄屋には多く帯力を許され、苗字を称えさせ、其の権威士格に準ぜしめた。

老は庄屋の補佐役であつて現在の助役に類する職務を帯び百姓中より淳良にして村幹あるものを選んだもので、これまた多くは世襲して其の任に当らしめた。而して大庄屋の下にある老又他に百姓惣代、組頭と称するものがあつて百姓惣代は当時郷村民を代表したるもので即ち百姓中より選挙した目付役であつて村費其他諸費割付配当等の際には必ず立会したものである。以上の役人の他に一般人民の組織した何人組と称する組といふものがあつて各組に組頭一名を置き数村よりなれる大郷に於ては村内に惣組頭を許けて数人の組頭を管しめた是等は皆、公私の別なく諸事万般組合員とよく協調を深げ村落の円満、向上を計つたものである。

旧藩時代の郷村政は殆んど全く自治の姿であつて、奉行代官等も強てこれに干渉せず特別の事情のない限りこれを不問に附して自由裁量に任せたものである。故に郷村内の申合せに従つて倹約をするも、労力を通ずるも吉凶互に相慶弔賑恤するも、氏神の祭礼仏寺等みな法度にそむかない限りは郷村内の心次第ともゆうべき自由な姿であつた。もつとも村内の郷士は他支配と称して目付方の支配に属し、一般百姓は悉く郡方の支配に属した。

(二)藩政時代の地方政治と豊永大庄屋

広瀬忠溝　長校学小藤繁

(イ)大豊村の所属

藩政時代の本村は所謂豊永郷、本山郷、甫喜山郷、上倉郷の四郷に分属統治せられていたが、其の区域は次の通りである

(甲)豊永郷に属したもの

旧東豊永村全部と、旧西豊永村のうち奥大田を除く他全部及び旧大杉村では中村大王のみ豊永郷に属し旧天坪村では繁藤、北滝本、樫谷穴内の南部四部落を除く他全部がこれに属した。

(乙)本山郷に属したもの

旧西豊永村のうち奥大田と旧大杉村のうち中村大王を除く他全部がこれに属した。

(丙)甫喜山郷に属したもの

旧天坪村のうち繁藤、北滝本の二部落がこれに属した

(丁)上倉郷に属したもの

旧天坪村のうち樫谷、穴内の二部落がこれに属した。

右のうち豊永郷のみは本村以外に今日、他町村に属するところがなく本村内で一郷を形成していたもので、古来本村の根幹となつてきたものであるので以下この大庄屋について述べ、ついでに総老にまで及ぶことにする。これによつて当時他郷に所属した各地域もおよそ大同小異であつたことを想像されたい。但しこのうちで本山郷のみは山内氏入国当初は其の一族山内刑部一照の領となり二代但馬一長に至つて改易没収せられ、ついで奉行野中玄審直継が之を領し其養嗣子兼山良継またこれを受けたが其の死後没収せられ、以後山内藩の直轄地として臣下を遣はして治めていて明治維新前後に大庄屋（これ以前山内氏入国当時にも置かれた様で事情が多少異なるところがあるが、これは他の機会にゆづることゝする。

右の如く豊永郷大庄屋は豊永五郎右衛門尉政を初代として豊永氏三代、長瀬氏一代、山本氏五代計九代凡そ二百年間当郷の支配に当つたもので下ノ土居は実に維新前までは豊永郷に於ける政治の中心地であつた。

(四)豊永郷惣老

惣老は前述の如く大庄屋の下に補佐役として置かれたもので、又惣年寄ともよばれた。豊永郷惣老については其の前期は記録の見るべきものなく目下不明であるが、県立中央図書館所蔵の旧山内藩の惣老根居によると其の後期においては小笠原、山中の二氏がこれに任ぜられたことが明らかにされているので以下この両氏について述べておくことゝする。

(イ)小笠原氏

小笠原氏は古来豊永の名族である、此の一族中、孫右衛門というもの宝暦五年岩原村の名本に任ぜられ、孫順平に至つて天保六年九月名本役そのまゝを以て豊永郷惣老に仰付けられ其の子保八と二代これを世襲して明治維新を迎えた。

(ロ)山中氏

山中氏も小笠原氏と同じく古来備北の名族である。此のうち山中銀三郎というもの豊永郷惣老に任ぜられ（拝命年月日不明、銀三郎以前また不明）其の子万七郎またこれを継ぎ以て明治維新に及んだ。

◉参考

(A)旧天坪村久寿軒に代官所（こゝでは大庄屋の支所の意）が置かれ豊永大庄屋の支配下にあつた様であり、此の代官は郡築氏が勤めた様であるが、詳細は不明である。

(B)当時総老に対する藩よりの給与は格式、名本兼務等の条件によつて差異があつた様であるが豊永郷惣老の小笠原氏、山中氏は次の通りであつた。（嘉永六年十二月現在の記録による）

(イ)小笠原保八に対する給与

一、銀三百六十六匁惣老給
米八斗四合一勺
銀百八十八匁五分　給本人夫
五厘二百九十人役　名
半紙十二束

外ニ銀六十五匁五分　惣老名本内所務

(ロ)山中万七郎に対する給与

一、銀三百五十七匁八分
八厘

外ニ銀三拾五匁斗　内所務

以　上

公民館活動

中央公民館え十六ミリ映写機と新刊図書を購入

中央公民館ではこの程、視聴覚教育推進の為、十六ミリ映写機を購入した。映写機は映機七〇〇型で携帯に便利なよう一セット二ケースに収納出来る。価格は免税で二十四万円である。

又新刊図書三百冊も購入した。

これで本館蔵書数は一千冊余りになったわけである。

公民館職員一部異動

役場内の人事異動や病欠等による一部異動がありましたが現在の各公民館の職員は次の通りであります。

中央公民館（杉局五五番）館長　西岡武光（専任）主事　平尾俊一郎（専任）

東豊永公民館（東豊永局一番）館長西村泰登（兼任）。主事　渡辺充康（兼任）

西豊永公民館（豊永局一番の甲）館長　岡林政美（兼任）主事　栄枝万福（兼任）

天坪公民館（天坪局一番の甲）館長　佐藤多麻呂（兼任）主事　小笠原幸生（兼任）

西峰公民館館長　三谷定親（非常勤）。主事　笹岡孝臣（非常勤）

穴内公民館館長　森下勇（非常勤）。主事　秋山盛敬（非常勤）

川口公民館　館長秋山正隆（非常勤）

よい子の手で公民館の美化を

川口校自治会に於ては、川口公民館をもつと清潔にしようという話し合いを持つて北村先生御指導のもとに、一般の人々の注意を喚起する為のポスターと、不用化された紙切れを手軽に入れる為の塵箱を児童生徒の手で作製し公民館に掲示すると共に備付けた。

これによつて同公民館が少しでも美しく使用されることを児童生徒は念願しているが、純真な子供の心を傷付けないよう阿校職員達も一般父兄に望んでいる。

改善で明るく楽しい毎日

怒田生活改善グループ

浸透する新生活運動

嘗い生活の殻を破つて新しい生活に入ることは、農村にとつて仲々難しいものであり乍ら、最もその必要が叫ばれている。

村内にも種々の障碍に逢い乍らその努力を続けている団体が幾つかあり、少しづつでも着実にその成果を挙げているが、その中での東豊永地区怒田生活改善グループ静和会（代表渡辺久万恵）より次の如く尊い記録が寄せられて来たのでこゝに紹介すると共に、人ごとでなくお互いに手をたづさえて新生活建設に努力したいものである。

（中央公）

私達の生活改善グループが発足したのは、丁度一年前の三月十五日でした。催か一年の間ですが、三谷普及員さんの献身的な御指導と、会員の皆さんの何とかして今までの生活から抜け出し、新生活へ、との尊い努力によつて、暮しが改善されて参りました。先づ食生活の改善からとの会員の希望で、三十年度は料理講習を主として、やつて来ました訳ですが、今までの経験からモットト計画的な家庭菜園により、何時でも新鮮な材料が用ひられるようにすべきである事に気が付きました。それで去る二月二十四日に農業相談所横山所長及び竹知技師を招き、又三月二日には県農業試験場の下山技師を迎え、これからの家庭菜園について、色々と詳しいお話しをしていたゞきました。農家の明るい健康な生活の為の台所をあずかる主婦として、栄養の給源である菜園を年次計画で作り、新鮮豊富な蔬菜が収穫出来る様になれば、このことだけでも大きな生活改善でありやろう!!と思へば早速出来ることですから会員が研究し励まし合つてやり抜こうと計画して居ります。

一、生活改善

1、酒宴の簡素化

2、結婚式の簡素化（鯛の生作りの廃止、新郎の紋付、新婦の高島田廃止）

3、家計簿の記帳

4、料理講習

5、台所改善

二、保健衛生の普及

三、生活必需品の共同購入

四、貯蓄の奨励実施

今年度は以上の様な計画で進むことに決つて居ります。共同購入は石けん、ハチミツゲン、綿花、ジヤコウルメ、醤油、又お正月神祭には砂糖、のり、等でります。これによつて得た利益金で料理講習の材料代、その他会の運営費としても居ります。

改善された明るい台所から、モクモクと、立ち上る煙突の煙を見ては、火吹き竹を片手に真黒になつて御飯炊きをした過去を思ひ、又色々と目先の変つたお菜や、見た事もなかつたチキライス、カレーライス、又農繁期の色々な保存食等を存分に喰べられる今の状態を考えると「ばつかり料理」で食卓につい た一年間を隠び、本当にこの会を始めて良かつたと、会員一同楽しい気持ちで一杯です。家庭菜園の第一歩として植付けた菜種が、やがて眼の覚める様な黄色で畑を埋めるのも、程遠からぬ事でせう。

大豊村の東北端標高五百米の怒田部落で、私達静和会員二十名は、暗黒の夜に光明を見出したような気持ちで、明るく楽しく希望に満ちあふれた毎日を送り迎えしております。

農業経営は先づ計畫を

◇考える稲作◇

大農業地区所談相

計画表

これからの農業は何事も自分で考へて判断し正しい計画を樹てて良いと思うことは実行することにあると思います。皆さんこの様な新しい農業経営の在り方への参考として農業相談所では稲作の耕種改善試作圃場を黒石部落へ、又補助圃場を戸手野穴内一区、西峰の三ケ所に置いて、此の村で稲作改善の問題となる点を採り上げて次の様な計画で行ない圃場を見て戴くことになりました。

品種	農林二二号
苗代様式	折衷苗代
播種量（坪当）	2,5—3,0合
苗代肥料（坪当）	
堆肥1貫を耕起前施用スキ込む。	
硫酸アンモニア	25匁
過燐酸石灰	40匁
塩化加里	20匁

種と肥料が直接ふれない様に施すこと。

木灰100匁　苗取り5日前に施用

追肥には本葉3—4枚の時期に硫安1,0匁を施用

苗代病害虫防除

病害　本葉4—5枚の時セレサン石灰を坪当り2—3匁を撒粉

害虫　°恐しい黄萎病を媒介するシマグロヨコバイの驅除を行うためEPNマラソンを2—3回撒布する。

本田基肥

堆肥（山草ならば150貫）300貫以上、燐酸燐肥5—8貫塩化加里2貫、塩化アンモニヤ1—3貫、特に本年は稲を丈夫に育てるため酸石灰20—30貫を施用本田追肥

第一回（7月上旬）塩安2貫

第二回（7月下旬）塩安2貫

塩化加里1,5貫（穂肥）

本田除草植付後　10日毎足行ない7月21日頃に止草

病害虫防除

分けつ最盛期出穂朝、各一回セレサン石灰撒粉ウンカの発生あればBHC撒粉

落水期　10月5日

これからの農業は何事も自分で考へて判断し正しい計画を樹てて良いと思うことは実行することにあると思います。皆さんこの様な新しい農業経営の在り方への参考として農業相談所では稲作の耕種改善試作圃場を黒石部落へ、又補助圃場を戸手野穴内一区、西峰の三ケ所に置いて、此の村で稲作改善の問題となる点を採り上げて次の様な計画で行ない圃場を見て戴くことになりました。

（全農家が一部又は大部分の技術を採り上げ効果をあげうる項目をとりあげた）

以上が稲作の耕種概要であるが播種は五月九日植付は六月十四日の予定であります、特に稲作の耕種改善、病害虫防除の点である、此れらの諸点を以上の様な栽培と慣行法との相違は苗代様式施肥改善、病害虫防除の点である、此れらの諸点を自己の稲作と比較検討すれば土地の性質、品種、施肥量及び方法病害虫の驅除法が正しい判断によつてなされる様になります以上申述べた点を御参考にされ乍ら考へる農民科学する農民への一歩の前進となる様に御互に努力しましょう。

手軽にできる保存食の作り方

農繁期には特に栄養を

蛙の声が喧ましくなる頃は農繁の空気がただよつて、多忙は毎日、朝は四時起で朝飯迄には冬の一日分位仕事をする。夕方は九時頃まで頭張り夕食は十時になる。総動員だから御馳走はない、よく続いたものだと思う頃は、体重が二貫匁も減つている。毎年の事乍ら、農繁期が終ると体が弱り鳥目（ビタミンA不足）や脚気（ビタミンB不足）になつたり、そのほかいろいろの病気が現われます。大体農家ではふだん粗食で栄養分が足りない所え農繁期になつて無理をするからこのような状態になるのです。だから農繁期に栄養を取る事もいいのですがふだんから栄養に気をつける事が大切です。

その意味で農家で手軽に出来る保存食の作り方を一つ二つ申上げてみますから一度お作りになつてみてはいかがでしよう。

作り方

煮豆もどき

大豆一合、醤油一合、水一合、砂糖一〇匁、

1大豆を炒つて擂鉢でサツと擂る皮が破れたら皮をうちわで吹き飛す。

2、熱湯に砂糖醤油を加えた中に右の大豆を入れ甕をしてむらす（コンロの残り火にかけておけば一そう軟かになる

（注意）大豆がなるべく冷めないうちに手早く味付けした熱湯の中に入れる事

!!大豆は良質の蛋白質を含んでいますから消化され易いように調理しておいしくいただきましょう!!

鉄火みそ

みそ一〇〇匁、牛蒡三〇匁、人参三〇匁、大豆三勺、砂糖三〇匁煮干し一〇匁、蕗二〇匁、油大さじ二杯、

1、大豆は炒つて別の器に取り熱湯をかけてむらしておく

2、牛蒡人参蕗を出来るだけ細かくきざむ

3、油を煮立て1、2の硬い物から順に入れて炒める

4、煮干粉砂糖を加えみそにつやが出来るまで気長くねりあげる

みそ漬け

するめ二〇匁、みそ一〇〇匁、切干大根一〇匁、砂糖四〇匁辛子少量、

1、するめは二時間位水に漬けて（漬けて五分位の時皮をとる）縦半分に切り千切りにする。

2、みそと砂糖は火にかけよくまぜながらねり上げる次に千切と大根とするめ辛子等を混ぜ合せる。壜につめて十日位たつとおいしくなる。（大豊地区農業相談所生活改良普及員三谷静喜）

高知県青少年代表者会議に筏木の長野和子さん参加

青少年がそれぞれの生活における正しいあり方を討議し青少年の自覚を高めるための第三回高知県青少年代表者会議は六月十日、高知市中央公民館で行なわれたが、これには土佐長岡郡下の代表として本村筏木の長野和子さん（十七才）が参加し県下十四名の代表と共に「新生活運動と青少年のあり方」の題目をもつて熱弁を振つた

産業

茶業のうつりかわり

四国南面の一帯を擁する本県は、その風土が良く茶樹の生育に好適し、古来山間地帯には自然茶（山茶）が繁茂し、藩政時代より原始生産による日乾番茶・焦茶・浸茶等と称するものが作られ、これを年貢の代りに納入していた地方もあつたようである。而して当時の茶の流通は一部を阪神方面に販売する以外は専ら県内需要に充てられていたようである。

今、茶業の変遷の大要をみると、文政年間に山城・丹波方面より緑茶の製造職人を屋入れ、稍々進んだ青製々茶法に於ては、漸次普及を図つたという記録があるが、これが本県における本格的な手揉み製茶のはじまりで、その後浮き沈みを繰り返しながら、とにかく大正初期迄手揉みの時代は続いた。その間明治三十五年県費助成による半機械製茶（粗揉機使用）が奨励されたこともあつたが好結果を得ず、現在の如き機械製茶が広く採用されるようになつたのは大正末期頃のことであり、爾来改良が加えられつゝ今日に至つている一方、紅茶に関しては明治十年本邦に紅茶事業が導入されるに当り、その原料として山茶が好適とされ、時の政府勧農局多田元吉氏が担当官となり、香美郡上韮生村安丸に於て紅茶の試製を行い、その製品を英米両国に試売し意外の好評を博したという実績がある。これが本邦における紅茶製造のコウ矢とされているその後の製造所も県下十八ケ所に拡げられ生産の増強を図ると共に更に進んで熊本・福岡・大分社を設立し、横浜市に紅茶会応の競争に破れ紅茶事業は一以上のように本県の茶業は緑・紅茶とも古い歴史と伝統を保持しつゝ現在に受けつがれて来たが、その基盤が他の産茶府県の如く人工による栽培茶ではなくて山野に豊富に自生する「山（自然茶）に依存するものであることは全国的にも類のない特異な経営型態であると云える

現況

戦前における本県の製茶生産量は十数万貫程度であつたが、第二次大戦により一時激減し、最近再び増産の方向に進んでいる。特に著しい傾向としては市町村単位に優良品種による計画的な集団茶園の造成が図られ、これと併行して山茶の開発利用が急速に伸びていることである。又製茶品質の点では相次ぐ工場の新設に伴い従来多かつた日乾番茶が次第に姿を消し、商品価値の高い煎茶級に置きかえられていることである。

二十九年度に於ける茶業の実績は茶園面積（山茶・畦畔茶を含む）は七〇三町歩で、製茶生産高は煎茶九九、〇〇〇貫、番茶八四、〇〇〇貫、玉緑茶（輸出向）一八、〇〇〇貫、紅茶四、〇〇〇貫合計二〇五、〇〇〇貫となつている。（三十年度は推定二二万貫程度）郡市別内訳は別表のとおりである

緑茶の生産は県下全般に亘つているが、主産地は吾川・高岡の両郡である。

紅茶はアツサム系優良紅茶の適産地帯である土佐清水、須崎地区が中心であるが、新しい事業としての山間特定地域における山茶を原料とする紅茶事業も堅実な経営を示している。

二十九年度の製茶の販売実績総取引量十万貫、金額にして約八、五〇〇万円となつている。その内訳は県外向）京阪神・中国・四国等）八万五千貫、輸出向（北アフリカ）一万五千貫となつており、年々増加の一途を辿つている。

今後の問題

終りに最近一番関心をもたれている今後の増産と茶価の問題にふれてみよう。

終戦後僅かに六〇〇万貫までに減産した日本茶業も全国的な増産施策が奏効し十年を経た現在に於て既に戦前最盛時を上廻る一、八〇〇万貫（二、〇〇〇万貫の説もある）の生産を示し、なお今後増加の見透しであり、このまゝでは生産過剰は必至であるとするのが一般的な見方となつている。

又本年度の茶のストツク及び茶価の下落からして茶業界は不況であるとの感を懐かしめている。然しこの問題を仔細に検討してみると、その根源は前年の好調に酔い過ぎた無計画な下級茶の増産ということに尽きるのである。この為に輸出も案外伸びず内需にも持て余され、滞貨の増大につれて価格も続落をたどつたわけである。

（問題の下級茶は昔は茶園に刈捨てる古葉まで利用して作つた茶であるから品質も悪く、数量が増えるのは蓋し当然である）これとは対照的に中級品以上は逆に需要が上昇し、昨年末に於て既に取引の上では品枯れの状態となり、価格も好況といわれた前年を上廻るものもあつた程であるこのことは今後の茶業の進路について大きな示唆を与えるものであり、かゝる情勢は茶業が一大転換期に直面したことを物語るものである。

なお茶の価格について取引の慣例を静かに眺めてみると、中級茶以上の品は毎年殆んど同じ水準を多少の上下で安定を保つているのに引きかえ、下級茶は或る年は倍に或る年は半値にと実に乱調子に浮動しているのが常態であつて、その理由は中級茶以上は殆んど内地向に消費せられ、その消費量は年々増加しているからである。反対に下級茶は輸出を目標として作られるため、貿易の振否によつて大きく変動するわけである。（貿易の見透しか良いとなれば盛んに製造せられ、内地向の下級茶が不足の状況となり価格は暴騰する）よつて、このような茶価の本質的な在り方も充分考慮に入れて茶業に対処すべきであると思うわけである。

本県の茶業もかゝる新情勢を直視しつゝ今後は栽培者も製造者も各分野の経営内容をよく検討して、改善に改善を加え、他産地よりも「良い茶を安く」生産し得るよう経営の合理化をはかることが最も肝要と考える次第である。

山村の換金作物

本縣茶業の歩みとその將来性

高知県農政課　池　清水

「別表」

昭和二十九年度茶業実績

郡市別	栽培面積	茶山	茶計	荒茶生産量	製茶工場数
安芸郡	二一三反	一六〇反	三七三反	七、〇〇〇貫	四
香美郡	六〇	二三五	二九五	七、五〇〇	二
長岡郡	一一四	四〇〇	五一四	一二、五〇〇	三
土佐郡	二三	六五〇	六七三	九、〇〇〇	二
高知市	一〇八	五	一一三	四、〇〇〇	三
吾川郡	三三	一、八五〇	二、八八三	五六、五〇〇	一八
高岡郡	六九五	一、七八〇	二、四七五	八三、五〇〇	三二
幡多郡	二八四	四二〇	七〇四	二五、〇〇〇	六
計	一、五三〇	五、五〇〇	七、〇三〇	二〇五、〇〇〇	七〇

新緑の中に美しい姿

工費二百二十万円で　大杉保育所落成

昨年の三月より建築工事が進められていた大杉保育所は、この程新緑の中につゝまれて美しい姿を現し、快晴に恵まれた四月十四日に盛大な落成式が挙行された。

当日は県知事代理土長福祉事務所長元吉正文氏を始め来賓、入所児童とその父兄等が約百名参列し松岡厚生主任の司会により厳粛な式典を行い工事施工者大豊村高須和田正徳氏に感謝状及記念品を贈呈し、終了した。

引続いて午后一時より一人二百円の会費で祝賀宴が張られ、なごやかな中に心から落成を祝福する空気に包まれた。

当保育所は杉部落の北畠に位置し背後に天然記念物日本一の大杉が聳え、前には清流穴内川が流れて、その環境は設備と共に県下のモデル保育所として大きく誇り得るものであろう。

同月二十一日は七十五名の児童を迎えて入所式を行い現在橋本所長さん以下五名の保姆さんに守られつゝ嬉々として毎日を過している。

亡き肉親に　無言の対面

村遺族会靖国神社え参拝

大豊村遺族会（会長鎌倉久男氏）では村厚生課の斡旋により、四月二十六日靖国神社に参拝し亡き父、子、兄弟に無言の面会をした一行三十六名は前厚生課長浜田茂美氏の引率により二十五日大杉午前六時三十三分発上り列車で出発し翌朝六時に東京駅に到着、本県選出代議士の各祕書官の出迎えを受けた。

先づ肉親の眠る靖国神社に参拝、冥福を祈り宮城え向い次いで三越百貨店を見学した。

二日及び三日目は日光東照宮その他の観光、四日目は国会議事堂及び羽田空港より新庁舎え移転、東豊永地区部落長会

村の足跡

四月

四日　教育委員会

五日　各地区で種痘判定

六日　高知地検より来庁、大豊村連合婦人会共励会（於東豊永公民館）

七日　各学校始業式

八日　大杉保育所入所式

九日　再建措置法関係について県地方課より来庁

十日　再建措置法関係につき県地方課より来庁

十二日　中央公民館運営審議会

十三日　庁舎落成式及合併一周年記念行事について準備委員会

十四日　大杉保育所落成式

会計検査院係官来村、検査を実施、農業委員会組織会

十五日　大豊村役場職員会

十六日　大豊村役場吏員第一次採用試験、大杉地区部落長会、農協組合長会、保育所関係会計監査

十八日　教育委員会

十七日　西豊永地区公民館運営審議会

二十日　厚生事業式

二十三日　庁舎建築工事下検査

二十四日　天坪地区公民館運営審議会、靖国神社参拝団上京、県議会土木委員村内土木関係実状調査に来村

二十五日　トコ映写機操作技術者認定講習会（大田口）日赤募金打合せ会

二十七日　村道等調査委員西豊永大杉地区村道を調査

二十八日　県議会土木委員村内土木関係実状調査に来村

二十九日　大豊村役場職員会役員会

三十日　大杉保育所入所児童委員会、村議会、村道等調査部落長連絡協議会校長会

五月

一日　製炭指導員講習会開講式、落合保育所入所式、大豊地区視聴覚ライブラリー運営委員会

二日　第二次役場吏員採用試験、煙草耕作組合会、庁舎建築工事下検査

四日　東豊永地区公民館運営審議会、農業委員会、日赤募金打合せ会

七日　土佐長岡郡公民館連絡協議会、県地方課より来村

八日　トコ映写機操作技術者認定講習会（大田口）日赤募金打合せ会

九日　館報編集委員会、庁舎建築委員会

十日　大杉保育所入所児童委員会、農業委員会、果長支所長会、村議会土木委員会、岩原青年学級開講

十三日　天坪南部地区慰霊祭

十四日　大豊村医師会

十五日　村道等調査委員会東豊永地区村道を調査、県指定社会学級説明会（舟戸）

十六日　村道等調査委員西豊永地区村道を調査、農林委員来村、村道等調査委員西豊永大杉地区村道を調査

十七日　村道等調査部落長連絡協議会役員会

十九日　製炭講習会閉会式村道認定調査委員会

二十一日　家屋調査補助金交付

二十二日　厚生事務連絡協議会

二十三日　教育委員会

感謝されるよい子供さん

川口少年夜警団

昭和二十九年四月川口部落の児童生徒約四十名は教室の中で真剣になつて、自分達の手で出来る社会奉仕について話し合つた。その中で先づやつてみようという事になつたのが、この少年夜警団だつた当時の団長は早速学校内にあつた木切れで拍子木を作つて、部落の道を回りはじめたのである。当時校下の人々も指導者も、一番関心を持つた事は此の活動が三日坊主に終るのではないかという事であつた。

はじめは十人余も参加していた此の活動も次第に参加人員が減少して来た事によつて、高更その心配は増して来た。時には二人程度で回つている事さえあつた。

その度に指導に当る者は激励を加えて行つた。

飛んで行き度い映画もやつて来た。はげしい雨の日もやつて来た。又寒風肌をつんざく冬の夜もやつて来たのであつたが、彼等はついに頑張り通した。そしてその人数も増加して行つた部落の人々も此の子供達の頑張りに感心したのか、百円、二百円の寄附をしてくれるものや、あらそくなどの寄附をしてくれる者も出て来た。

昭和三十年一月二十一日には本山警察署からの表彰を受け、二月二日には村消防団長からの感謝状を受け、又一月十九日には毎日新聞社から、此の活動に対する記事の取材に記者が来校するなど、私達の予想もしなかつた事柄が子供達の活動を激励してくれるようになつた

又昭和三十年十二月二十五日クリスマスの日には、部落のPTAの方々の手によつて、此の子供達を慰労する会が設けられ、お母さん方の心のこもつた料理によつて、子供達は更に勇気づけられる結果となつた。

現在西岡幸一郎先生指導のもとに満二年目を迎えている。

火の用心と叫ぶ子供達の真心が、今夜も山々にこだまして、部落の人々の心を家庭をそして、私達の住む社会を明るいものにしてくれる事を、心から祈るものである。

大杉保育所の辨償金決定

大杉地区民生委員協議会（会長、野島かほる）では大杉保育所の辨償金決定について去る五月四日午前十時より役場会議室に於て開催、辨償金に関し、各委員よりそれぞれ資料が出され極めて慎重に研討され各人毎の辨償金を決定し散会したこの辨償金は保育所に子供を出している父兄に対しそれぞれの収入資産等に応じ課せられ学費に相当するものであつて文部省の通達により最高七〇〇円、最低一〇〇円（但し生活扶助を受けて居る者は免除）の基準により各保育所毎に賦課を決定するものである

〃鮎〃終戦以來の豊漁

組合費滯納の一掃に協力を

について

嶺北漁業組合では昭和卅一年度第一回理事会を開き、稚鮎、稚鰻、雑魚の放流、組合賦課金の徴収、滯納者の整理等その他諸案件について協議を行なつた

本年の鮎の状況については去る四月、河口の潮上状況を実査、及び徳島県池田漁協組合で同地域を潮上する鮎の状況調査の結果、終戦以来の豊漁であると発表され関係者を喜ばしているなお組合では次の事項につき協力を望んでいる

◎組合賦課金の納入滯納者に対しては納入する様、特に文書を発送するが組合を脱退して貰うか又は納めるか納めないかを確め納入しないときは自発的に除名措置が取られる事になつた

組合費徴収は近々になされるので納入方、協力を望んでいる

尚組合員徽章を附けずに出漁することを禁止する事に決定した

嶺北第一号の簡易焼却爐を設置

活躍する舟戸衛生組合

舟戸部落の衛生組合（組合長上村正行）では県道杉久保線舟戸橋横に嶺北で第一号の簡易焼却炉を設置して毎日の塵芥約五十貫を焼却する傍ら四月を鼠族昆虫驅除月間、五月を大掃除月間として其中に「蝿叩き」「鼠の驅除」「塵芥投棄防止」「塵箱の整備」「便所の整備」「家内外の清掃」「事業反省」等の週間を設け青年団による発生源の調査を基礎に無理のないよう合理的な衛生計画を立て、清潔運動を実施している。

燃える焼却炉の煙りは初夏の新緑に映えて特別清掃地区にふさわしく組合員の熱意もまた焼却炉と共に燃え明るい清潔な地区づくりに部落民の表情もほがらかである（写真は清掃作業の一部）

明るくなつた杉ー大杉驛間

去る三月大杉駅前より杉街の間に街路燈四燈が施設され夜間通行が安全になり感謝されている。これは杉部落長杉本さん、寺尾繁喜さん等が発起し設備費は部落で維持は各戸十円の負担で施設されたものである

八名式窯の木炭技術指導者講習會開かる

高知県木炭協会連合会の主催による製炭技術指導者講習会が県内で唯一ケ所大豊村高須の楠島正之氏所有の斬炭林で行なわれた。

本講習は従前の講習会とことなり将来各市町村にあつて或いは団体にあつて技術の改善を指導する指導者の養成を目的としてその受講者も県内でわずか十四名に制限して講師も島根県庁の小津技師及び小川指導員を招き窯築きから、般出技術まで全般にわたつて四月二十一日より一ケ月間、連日行なわれたのである。

この間、県内生産者の見学が引きもきらずその数延三百人を越した。

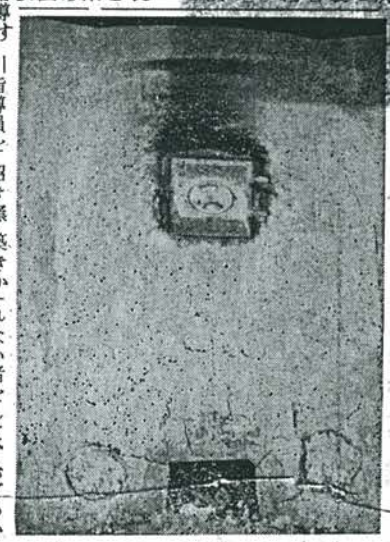
窯の名を「八名式窯」と呼び、床の広さが八尺に十尺、窯壁の高さが三尺、天井が全くの扁平であり、なれない者をして、おどろかしめる。

初窯にはナラ三百貫、ザツ百二十七貫、カシ八十四貫、あげ木九十六貫、敷木二十貫、試験木十五貫（一本〳〵について試験するもの）計六百四十二貫を入れ燃材は約五十五貫を使用し五時間位で焚きつけることができる。

初窯の採炭量は二十二俵であつたが二番窯よりは平均二十四俵は出る予定である。

写真で見てもわかるようにこの窯の特徴は、天井が全く扁平であること、焚口、出し入れ口が一つであることだ。

設計書やその他詳細については木炭検査員大杉駐在所に問い合せの事。



老人も笑つて　二町一反歩の植林

西峯正念会

うす曇りの四月二日、西峯公民館産みの親、社団法人西峯正念会（故三谷龜松氏明治三十六年創立現会長氏原友一氏）の発起により、西峯地区字マルアレの山林一町歩、実面積二町一反歩の植林が行なわれた。

早暁六時、三百世帯の代表百四十二名の男女が西峰公民館に集合、六千二百本の杉苗を背負い土阿国境京柱峠の麓まで三里の道を進んだ。整地植付共に午后三時に終了、一同記念写真の撮影をし、神職三谷基美氏により山の神祭りの儀式があり花の友二十五本の神酒を披露して西峰公有林万才を三唱し一同散会した。

特に六十才以上の老人二十余名の参加があり、若者も及ばぬ仂きぶりに一同は深い感激を受けた。

同植林地は今を去る五十一年前、明治三十九年当時東豊永村長故三谷龜松氏（三谷啓保氏厳父）の発起に依る西峰校下父兄の植林四十七年生の杉約三千石を、去る二十八年九月二十日四百五十二万円に売却しその所得で現在の西峰公民館建築資金としたものである。（西峰三谷定親）

四十五名中五名を採用

役場職員採用試験

大豊村役場職員の採用試験は男二十五名女二十名計四十五名の応募を得て四月十六日に第一次試験（学科）が行なわれて十一名が合格、第二次試験（面接）が五月二日に行なわれて十名が合格しその内五名を採用し他の五名は欠員の場合の補充とすることに決つた。採用された者は次の通り。

鎌倉宏（杉）秋山正治（川口）前田集一（角茂谷）上村忠（桃原）上村恵美子（川井）

◇御願い◇

一、御買上は現金取引とす

二、特約帖付は其月末勘定とし長い貸は致しません

右之通り協定に依り御願いします

大豊村大杉地区商工会

会長　杉本勇

傳染病の時期が来た

梅雨期に入ると、種々の伝染病、特に疫痢、赤痢の発生が多くなりますが、此れは平素の一寸した注意でも予防になります、左の事に注意して下さい。

○生水、生物等の飲食をさける。

○用便後の手洗の励行（ばい菌は少々の紙を通り抜けます

○ハエや蚊を、徹底的に退治する。ことに食物にハエが直接触れぬ様心がける事、

○疲労した体、弱い体には病気が取つきやすいのでよく体の状態に注意し、常に健康を守る事

○若し体に異状が起ればすぐ医師の診断を受け適切な処置を取り、悪疫のまん延を防ごう。

○家庭の大掃除等を行い環境をよくして明るい住よい、生活を、いとなみませう。

注意！

投稿

村造りについての私見

西岡広

合併一週年に当ります。村執行部は合併一周年に当りては思ひ切つた機構の改革を断行すべきであります。

現在の課制は研究の余地があります。両助役は最早執行部として第一線に出て執務すべきであり課は統合して両助役の下に係制を実施し円滑なる執務態勢を整え何も多数の課長を置くの必要は認められません。

支所も村民と直接に関連性のない火急を要しない事務は総て本庁に於いて処理し戸籍閲覧諸証明程度となし部落長を強化活用すべきであると思ひます。

第二は教育機関でありまして村百年の基礎を作る為に相当英断を以つて施策を実施すべきであります。中学校一〇小学校一五分教場三計二七南部五部落の分村に依りましても統合は強行するものと考察されます大豊も此の際百尺竿頭一歩前進し、鉄道沿線の五中学は適地を選んで一校として発足し他も順次統合すべしと主張するものであります。昭和三十年度中学予算が五百十九万余円昭和三十一年度四百四十三万七千余円であります。中学の統合は刻下の急務でありまして大豊の如く交通に恵まれた地区は県下でも稀で国や県に於いても合併町村として特別の措置を講じて呉れる筈であります。加ふるに今年から高等学校も通学区を変更されまして市内高校入学は永久に締め出されまして最早入学試験を復活するに非らざれば望は絶たれたのであります。今年は辛じて特別査制により希望者は全員願書が受理されましたが来年は見込がありません入試の早急に実施されることが大豊の救はれる途でありますが現在の様な小さい中学では到底他の大きな学校に対抗し得らるでせうか案ぜざるを得ません。

大豊千四百名の中学生を収容し得る中学を設立し一学年十学級程度とし学級を各々の志望と特性を活かしたコース別に編成し之に適応した教育を施すことこそ望ましいことで中学を卒業と共に何れの面に出ましても直ちに各自の能力が発揮されますと共に村内全義務教育修了者は一年乃至三年の間同窓生として育つことと なり互に意志疎通し郷村意識は全く払拭せられて村造りに寄与することも甚大で全く一石三鳥の効果とも申すべく経費節約教育効果の昂揚の平和と何れの面よりしても其の利益は甚大であります。中学年次計画を樹立し早急に着手する要ありと信じます

第三は従来農林省の指定して居りました新農村建設計画は本年より村を単位とせず地域を単位として実施される様でありまして